



Digital Send Web

新聞インターネット移行ガイド

(2020年6月以降対応)



Digital Send

株式会社デジタルセンド

Ver.1.1

改版履歴

版数	改版日	修正内容
1.0版	2020/4/28	1.0版として作成
1.1版	2020/7/17	ヘルプデスク受付時間を修正 その他誤記修正

目次

1. はじめに	1
2. WindowsUpdateについて	2
3. 事前確認	3
3.1 センターサーバーへの接続確認	3
3.2 Team Viewer QS Ver.8の接続確認	4
3.3 新聞社自動受信機能の接続先サーバーについて（新聞社のみ）	5
3.4 事前確認結果について	5
3.5 ウイルス対策ソフトについて	5
4. インターネット回線移行の当日作業	6
4.1 事前作業（SE作業）	6
4.2 インターネット回線接続（加盟社様作業）	7
4.3 サーバー、端末、プリンターのIPアドレス変更（加盟社様作業）	8
4.4 セキュリティソフトのインストール（加盟社様作業）	9
4.5 Team Viewer QS Ver.8のインストール（加盟社様作業）	9
4.6 回線移行に伴うアプリケーション設定変更作業（SE作業）	10
4.7 動作確認のためのテスト送稿実施	10
4.8 時計サーバーの設定（加盟社様作業）	10

1. はじめに

- 本書は、専用線に接続された送受信サーバー／端末を、インターネット回線に接続するためのガイドです。本書をよくお読みになり、設定を行ってください。
- ご不明な点がありましたら、ヘルプデスクまでご連絡ください。

※移行手順は一般的な運用をされている加盟社様を前提にしております。加盟社様の自社システムとのオンライン連携等、加盟社様が独自に実施した設定については、加盟社様の責任でインターネット回線移行に伴う設定変更、および動作確認の実施をお願いいたします。

※インターネット移行後は、専用線接続時に提供しておりました「アプリケーションの自動更新サービス」が利用できなくなります。アプリケーションの更新作業はお客様にて、デジタルセンドがWeb等から提供するアップデートモジュールをダウンロードし、適用いただくことをご了承お願いいたします。

株式会社 デジタルセンド／Digital Send

新聞オンライン送稿ヘルプデスク

《月～金 10:00～22:00》

Mail: digitalsend-help@nexs.nec.co.jp

Tel: 03-3454-6888

- 本ガイドの内容の一部、または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
- 本ガイドの内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本ガイドの内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご連絡ください。
- 運用した結果については、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

2. WindowsUpdateについて

インターネット回線への移行にあたって、WindowsUpdateなどのパッチの適用が課題となりますが、パッチの適用の要否、タイミング、また適用作業自体については、加盟社様の責任で判断・実施いただいております。

以下の項目は、加盟社様でのパッチ適用作業にあたって、デジタルSENDからのお願い事項となります。

- パッチを適用する際に、必要な原稿データは、加盟社様にてバックアップを保管願います。
- WindowsUpdateを適用したことによる不具合が発生した場合、加盟社様にて、適用したUpdateの除外等、復旧作業を実施いただいております。デジタルSENDでも迅速な情報の展開や助言を実施しますので、ヘルプデスクまでご連絡いただきたくお願いいたします。

3. 事前確認

3.1 センターサーバーへの接続確認

- 送受信サーバー／端末を接続する予定のインターネット回線に接続された別PCで、次の手順でセンターサーバーへの接続を事前に確認してください。
- 接続できない場合、URLの入力に間違いがあるか、社内プロキシなどで制限されている可能性があります。詳しくは社内ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1



ブラウザを開き、<<https://dsw.digital-send.com/chkpage/g.html>>にアクセスします。左図のように「OK」が表示されれば、接続に問題はありません。

※HTTPS（ポート443）

2



ブラウザを開き、<<https://dsw.digital-send.com:1443/chkpage/d.html>>にアクセスします。左図のように「OK」が表示されれば、接続に問題はありません。

※HTTPS（ポート1443）

3.2 Team Viewer QS Ver.8の接続確認

送受信サーバー／端末を接続する予定のインターネット回線に接続された別PCで、次の手順でセンターサーバーへの接続を事前に確認してください。

- 1 リモート保守用のソフトウェア「Team Viewer QS Ver.8」を<http://download.teamviewer.com/download/version_8x/TeamViewerQS.exe>からダウンロードします。
- 2 ダウンロードした実行ファイル「TeamViewerQS.exe」をデスクトップに配置します。



実行ファイルをダブルクリックして実行します。

「使用中のID」「パスワード」に数字が表示されていることを確認してください。

【参考】

- このソフトはインターネット上のサーバー「*.teamviewer.com」にアクセスします。ファイアウォールを設定される場合は、このサーバーへのアクセス許可設定をお願いいたします。
 - このソフトは以下の優先順位で利用可能なポートを検知し、動作いたします。
 - ① 1024～:UDP
 - ② 5938:TCP(TeamViewer remote desktop protocol)
 - ③ 443:HTTPS
 - ④ 80:HTTP
- ※デジタルSENDでは、5938ポートの利用を推奨しています。

3.3 新聞社自動受信機能の接続先サーバーについて(新聞社のみ)

新聞社自動受信機能は、インターネット上のサーバー「202.247.54.192」にアクセスします。ファイアウォールを設定される場合は、このサーバーへのアクセス許可設定をお願いいたします。

3.4 事前確認結果について

事前確認で判明した注意点などがあれば、「移行日当日」に受信サーバーに適用してください。

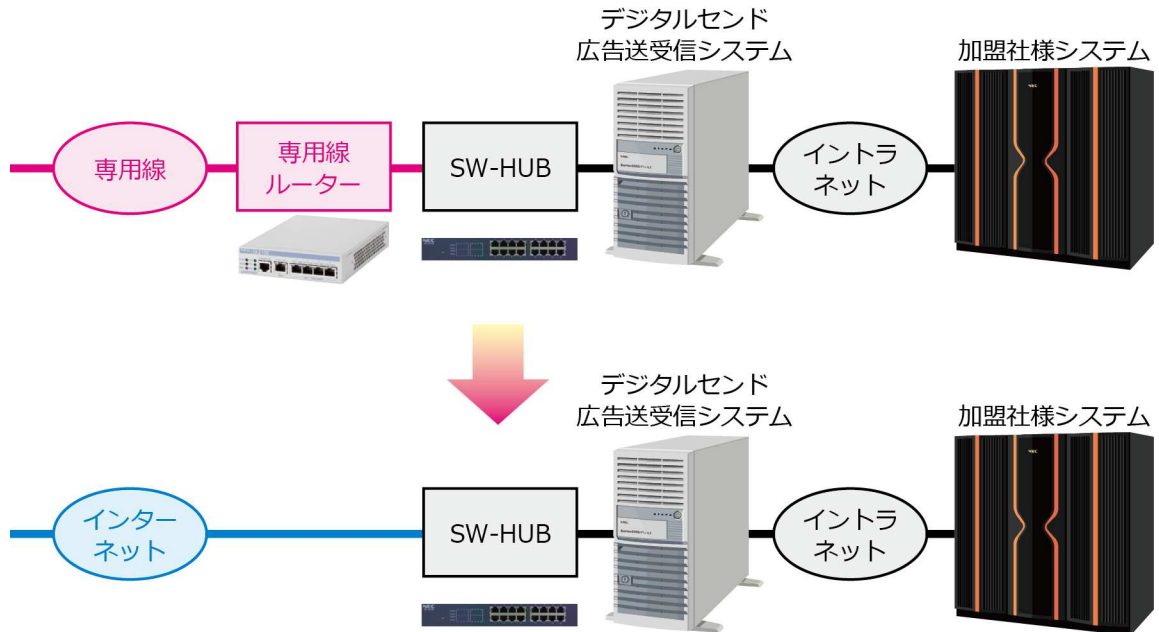
3.5 ウイルス対策ソフトについて

専用線で使用していたウイルス対策ソフトはインターネット回線では使用できません。

サーバーや端末に対し、各加盟社様のセキュリティポリシーに添ったウイルス対策ソフトをご用意くださいますよう、お願いいたします。

4. インターネット回線移行の当日作業

当日作業は、設定および動作確認作業として、約1時間半～2時間程度を想定しています。



4.1 事前作業(SE作業)

サーバーと端末に対して、インターネット移行により使用できなくなる専用線用セキュリティソフト（ウイルスバスターCorp.Client）のアンインストールを、SE がリモートにて実施します。

4.2 インターネット回線接続(加盟社様作業)

- 1 **【新聞社自動受信機能をご使用の新聞社のみ】** 新聞社自動受信機能画面の右下にある「終了」ボタンをクリック⇒「はい」ボタンをクリックで終了します。

2

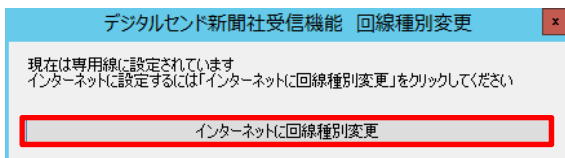


SetNetworkType.exe

【新聞社自動受信機能をご使用の新聞社のみ】

D:\¥NewDS¥app¥Tool¥SetNetworkType.exeを起動します。

3



【新聞社自動受信機能をご使用の新聞社のみ】

「インターネットに回線種別変更」をクリックし、設定ファイルをインターネット用に書き換えます。

4

下記スイッチングハブの15番ポートに接続されている専用線用ルーター接続LANケーブルを抜き、代わりに加盟社様で用意したインターネット回線に接続します。



ネットワークの死活監視を行っておりますので、専用線の上記作業後も、専用線に接続されていたネットワーク機器類(端末装置、専用線用ルーター)の電源は、回線撤去まで入れたままの状態を保持していただくようお願いいたします。



電源は入れたまま

4.3 サーバー、端末、プリンターのIPアドレス変更(加盟社様作業)

- 1 サーバー、端末のネットワーク設定をインターネット回線接続用に変更します。

加盟社様のご用意したインターネット回線に合わせて下記画面の設定（IPアドレス、デフォルトゲートウェイ、DNSなど）をお願いいたします。

【Windows Vista, 7, 2008, 2008R2】

[スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]→[ローカルエリア接続]→[プロパティ]→[インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4)]

【Windows 10】

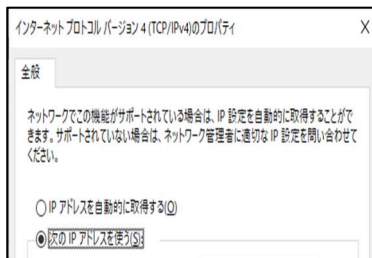
[スタート]→[Windows システムツール]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]→[ローカルエリア接続]→[プロパティ]→[インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)]

【Windows Server 2012R2】

[スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]→[イーサネット]→[プロパティ]→[インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)]

【Windows Server 2003】

[スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワーク接続]→[ローカルエリア接続]→[プロパティ]→[インターネット プロトコル(TCP/IP)]



※右記画面を表示する順序はコントロールパネルの表示方法により異なる場合がありますのでご注意ください。

- 2 サーバーと端末でセンターサーバーにアクセスできるかを確認します。確認方法については、「3.1センターサーバーへの接続確認」を参照してください。
- 3 プリンターのネットワーク設定を、(1)で設定済のサーバー・端末から参照できるように設定します。設定方法は機種によって相違があります。備品の中に含まれているプリンターの「ユーザズマニュアル」をご参照ください。

※ お使い頂いておりますプリンターの「ユーザズマニュアル」は下記URL から入手可能です。

<http://www.nec.co.jp/products/laser/download/user/printer/index.html>

●MultiWriter 2860N (PR-L2860N):36 ページ(step4 IP アドレスとサブネットマスクを設定する)

- MultiWriter 3300N (PR-L3300N):34 ページ(step4 IP アドレスとサブネットマスクを設定する)
- MultiWriter 8450NW (PR-L8450N):27 ページ(ネットワークを設定する)

4.4 セキュリティソフトのインストール(加盟社様作業)

専用線で使用していたウイルス対策ソフトはインターネット回線では使用できません。サーバーと端末に対し、加盟社様のセキュリティポリシーに添ったセキュリティソフトのインストールをお願いいたします。

※加盟社様の自社システムとのオンライン連携等、加盟社様が独自に実施された設定については、セキュリティソフトインストール後、インターネット回線移行に伴う設定変更等の実施および確認をお願いいたします。

4.5 Team Viewer QS Ver.8のインストール(加盟社様作業)

- 1 リモート保守用のソフトウェア「Team Viewer QS Ver.8」を<http://download.teamviewer.com/download/version_8x/TeamViewerQS.exe>からダウンロードします。
- 2 ダウンロードした実行ファイル「TeamViewerQS.exe」をデスクトップに配置します。



実行ファイルをダブルクリックして実行します。

「使用中のID」「パスワード」に数字が表示されていることを確認してください。

【参考】

- このソフトはインターネット上のサーバー「*.teamviewer.com」にアクセスします。ファイアウォールを設定される場合は、このサーバーへのアクセス許可設定をお願いいたします。
- このソフトは以下の優先順位で利用可能なポートを検知し、動作いたします。
 - ① 1024～:UDP
 - ② 5938:TCP(TeamViewer remote desktop protocol)

③ 443:HTTPS

④ 80:HTTP

※デジタルセンドでは、5938ポートの利用を推奨しています。

4.6 回線移行に伴うアプリケーション設定変更作業(SE作業)

作業時間は、15分～30分程度を想定しています。作業内容は以下の通りです。

- hostsファイル等の変更
- 専用線用リモート保守ソフト(pcAnywhereまたはWinShare)のアンインストール

4.7 動作確認のためのテスト送稿実施

インターネット回線移行作業が正しく実施されていることを確認するため、作業終了後にデジタルセンドの保守環境より原稿をテスト送稿します。受信原稿が自動で加盟社様システムに取り込まれる設定になっている場合、このテスト原稿が加盟社様システムに取り込まれることとなりますのでご注意ください。テスト実施時には、当日の担当者様に連絡の上、実施させていただく予定です。

4.8 時計サーバーの設定(加盟社様作業)

専用線利用時は、デジタルセンドネットワーク内のNTPサーバーを設定していました。インターネット移行後、NTPサーバーを設定し直す必要があります。

テスト送稿後、サーバーや端末の時刻同期先をWindows 出荷時設定である「time.windows.com」や貴社内のNTPサーバーに設定する作業をお願いいたします。

※サーバーと端末のシステム時刻が大きくずれていると、受信時間のズレが発生したり、トラブル発生時の調査に支障をきたす可能性があります。